

招集ご通知

GMO AD PARTNERS

第22期 定時株主総会

今回の株主総会では、お土産のご用意はございません。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、座席数を制限しております。満席となった場合、ご入場いただけません。ぜひライブ配信をご覧ください。

開催日時

2021年3月21日(日曜日)
午後1時30分(受付開始:午後1時00分)

開催場所

東京都渋谷区道玄坂1丁目2番3号
グループ第2本社・渋谷フクラス
16階「GMO Yours・フクラス」

GMOアドパートナーズ株式会社 証券コード：4784



GMOアドパートナーズ株式会社
代表取締役社長
橋 口 誠

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜りまして誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症により影響を受けた方々には心よりお見舞い申し上げます。

2020年12月期におきましては、GMOインターネットグループとして、いち早く新型コロナウイルス感染症対策のため在宅勤務体制へ移行し、リモートワークの推進や就業環境のDXなど、感染症の拡大防止と成長の継続を両立する体制づくりを推進してまいりました。

緊急事態宣言発令による外出自粛要請の影響により、広告の出稿を控える業種が発生する一方、在宅時間の増加を背景としたインターネット利用時間の増加や広告のデジタルシフトにより、インターネット広告全体の需要は堅調に推移いたしました。当社においても、オンラインサービスなどの業種の広告出稿や、アドテクノロジー事業は好調な市場環境となりました。

このような変化の激しい市場環境のなか、2020年12月期の業績は、2019年実施したオフィスや人財への投資を活かし、営業利益、経常利益ともに業績予想を超える結果となりました。

当期に関しましては、広告市場の更なるデジタルシフトの実現を支えるため、事業基盤や組織の強化といった中長期的な取り組みも実施し、継続的な事業成長を目指してまいります。株主様、そしてお取引先様をはじめとするあらゆるステークホルダーのご期待にお応えできるよう、全社一丸となり取組んでまいります。

今後とも倍旧のご支援、ご愛顧を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

証券コード4784
2021年3月5日

株 主 各 位

東京都渋谷区桜丘町26番1号
GMOアドパートナーズ株式会社
代表取締役社長 橋 口 誠

第22期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第22期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

なお、書面によって議決権を行使される場合は、お手数ながら4ページ以降の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、2021年3月19日（金曜日）午後7時までに到着するようご返送いただきたくお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 2021年3月21日（日曜日）午後1時30分（受付開始：午後1時00分）
2. 場 所 東京都渋谷区道玄坂1丁目2番3号
グループ第2本社・渋谷フクラス16階「GMO Yours・フクラス」
（末尾の株主総会会場ご案内図をご参照ください。）
3. 目的事項
報告事項
 1. 第22期（2020年1月1日から2020年12月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第22期（2020年1月1日から2020年12月31日まで）計算書類報告の件
- 決議事項
 - 第1号議案 剰余金処分の件
 - 第2号議案 取締役（監査等委員であるものを除く）11名選任の件

以 上

~~~~~

◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

◎本招集ご通知に添付すべき書類のうち、「連結注記表」および「個別注記表」につきましては、法令および当社定款第15条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト（<https://www.gmo-ap.jp>）に掲載しておりますので、本招集ご通知添付書類には記載しておりません。従いまして、本招集ご通知の添付書類は、監査報告書を作成するに際して、監査等委員会および会計監査人が監査をした対象の一部であります。また、株主総会参考書類ならびに事業報告、計算書類および連結計算書類に修正が生じた場合も、当社ウェブサイトに掲載させていただきます。

◎株主総会の決議通知は、当社ウェブサイトに掲載させていただきます。

## 「新型コロナウイルス感染症の対策に関するお知らせ」

新型コロナウイルスの感染予防及び拡散防止のため、株主様の安全を第一に考え、株主総会の開催方針を以下のとおりとさせていただきます。

- ① ご高齢の方や基礎疾患がある方におかれましては、本株主総会へのご来場をお控えくださるようにご推奨申し上げます。また、健康な方におかれましても、感染予防の観点より慎重にご判断ください。
- ② 議決権行使の際は、可能な限り書面（郵送）による事前行使をお願い申し上げます。
- ③ 株主様向けに、質問の事前受付・ライブ配信を実施いたします。（詳細は郵送の招集通知ご参照）
- ④ 株主総会にご来場される株主様におかれましては、マスクの着用をお願いいたします。
- ⑤ 株主様同士のお席の間隔を広く取るため、十分な席数が確保できない可能性があり、ご来場いただいても、ご入場を制限させていただく場合がございます。
- ⑥ 当日は、受付前のサーモグラフィーにて株主様の体温を計測させていただき、37.5度以上の発熱がある方や体調の優れない方等のご入場を制限させていただきます。
- ⑦ お土産のご用意はございません。
- ⑧ 厚生労働省が提供する「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」のインストールをお願いしております。  
ご来館時に受付にてアプリ（COCOA）の画面を確認させていただきます。
- ⑨ 株主総会に出席する取締役及び運営メンバーは、マスク着用等の感染症予防対策を講じた上で対応させていただきます。また、本総会に出席する役員のうち、一部の者はウェブ会議システムにより出席させていただく場合がございます。

ご理解、ご協力いただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 株主総会参考書類

### 第1号議案 剰余金処分の件

剰余金の処分につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

期末配当に関する事項

期末配当につきましては、当期の業績および今後の事業展開ならびに財務内容等を勘案いたしまして、以下のとおりといたしたいと存じます。

- (1) 配当財産の種類  
金銭
- (2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額  
当社普通株式1株につき金8円20銭、総額131,607,811円
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日  
2021年3月22日

## 第2号議案 取締役（監査等委員であるものを除く）11名選任の件

当社の取締役（監査等委員であるものを除く）全員（10名）は、本総会の終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役（監査等委員であるものを除く）11名の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本議案について監査等委員会において検討がなされましたが、特段指摘すべき点はございませんでした。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者<br>番号 | 氏名                                        | 地位      | 当事業年度における<br>取締役会への出席状況（出席率） |
|-----------|-------------------------------------------|---------|------------------------------|
| 1         | 再任 橋 口 誠<br><small>はしぐち まこと</small>       | 代表取締役社長 | 17回中17回に出席（100%）             |
| 2         | 再任 熊 谷 正 寿<br><small>くまがい まさとし</small>    | 取締役会長   | 17回中17回に出席（100%）             |
| 3         | 再任 堀 内 敏 明<br><small>ほりうち としあき</small>    | 取締役副社長  | 17回中17回に出席（100%）             |
| 4         | 再任 菅 谷 俊 彦<br><small>すがや としひこ</small>     | 常務取締役   | 17回中17回に出席（100%）             |
| 5         | 再任 須 田 昌 樹<br><small>すだ まさき</small>       | 取締役     | 17回中17回に出席（100%）             |
| 6         | 再任 伊 藤 幹 高<br><small>いとう みきたか</small>     | 取締役     | 17回中17回に出席（100%）             |
| 7         | 再任 渡 部 謙 太郎<br><small>わたなべ けんたろう</small>  | 取締役     | 17回中17回に出席（100%）             |
| 8         | 再任 佐 久 間 勇<br><small>さくま いさむ</small>      | 取締役     | 17回中17回に出席（100%）             |
| 9         | 再任 安 田 昌 史<br><small>やすだ まさし</small>      | 取締役     | 17回中17回に出席（100%）             |
| 10        | 再任 有 澤 克 己<br><small>ありさわ かつみ</small>     | 取締役     | 17回中17回に出席（100%）             |
| 11        | 新任 徳 永 伸 一郎<br><small>とくなが しんいちろう</small> | —       | —                            |

候補者  
番号

1



はしぐち まこと

橋 口 誠

(1968年10月1日生)

再 任

所有する当社の株式数

普通株式

28,288株

・略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

- 2000年 4月 株式会社日広 取締役
- 2003年 4月 株式会社日広 常務取締役
- 2004年 4月 株式会社日広 専務取締役
- 2006年 9月 株式会社NIKKO (現GMOアドホールディングス株式会社)  
専務取締役
- 2007年 7月 株式会社NIKKO (現GMOアドホールディングス株式会社)  
代表取締役社長
- 2009年 8月 株式会社NIKKO (現GMO NIKKO株式会社)  
代表取締役社長
- 2011年 3月 当社取締役
- 2015年 3月 当社代表取締役社長 (現任)  
GMOソリューションパートナー株式会社 取締役 (現任)  
GMOモバイル株式会社  
(現GMOアドマーケティング株式会社) 取締役 (現任)  
GMOアドホールディングス株式会社 取締役 (現任)
- 2017年 5月 GMOインターネット株式会社  
取締役グループ広告部門統括 (現任)
- 2017年 6月 JWord株式会社  
(現GMOインサイト株式会社) 取締役 (現任)
- 2017年 7月 GMOドリームウェーブ株式会社 代表取締役社長 (現任)
- 2019年 3月 GMO NIKKO株式会社 取締役会長 (現任)

候補者  
番号

2

くまがい まさとし  
**熊谷正寿**

(1963年7月17日生)

**再 任**

所有する当社の株式数

普通株式

—

## ・略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

- 1991年 5月 株式会社ボイスメディア（現GMOインターネット株式会社）  
代表取締役
- 1999年 9月 当社代表取締役
- 2000年 4月 当社取締役
- 2001年 8月 株式会社アイル（現GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社）代表取締役会長
- 2002年 4月 GMO総合研究所株式会社（現GMOリサーチ株式会社）  
取締役会長（現任）
- 2003年 3月 グローバルメディアオンライン株式会社  
（現GMOインターネット株式会社）代表取締役会長兼社長  
株式会社アイル（現GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社）  
取締役会長（現任）
- 2004年 3月 株式会社paperboy&co.（現GMOペパボ株式会社）  
取締役会長（現任）  
GMOモバイルアンドデスクトップ株式会社  
（現GMOメディア株式会社）取締役会長（現任）
- 2004年 12月 株式会社カードコマースサービス  
（現GMOペイメントゲートウェイ株式会社）取締役会長
- 2007年 3月 当社取締役会長
- 2008年 5月 GMOインターネット株式会社  
代表取締役会長兼社長グループ代表（現任）
- 2009年 4月 株式会社イノベックス（現GMO TECH株式会社）  
取締役会長（現任）
- 2009年 7月 GMOアドホールディングス株式会社 代表取締役社長（現任）
- 2011年 12月 GMOペイメントゲートウェイ株式会社 取締役会長兼社長
- 2012年 12月 GMOペイメントゲートウェイ株式会社 取締役会長（現任）
- 2015年 3月 当社取締役
- 2016年 3月 当社取締役会長（現任）



候補者  
番号

3



ほりうち としあき  
**堀内 敏明**

(1971年3月27日生)

再 任

所有する当社の株式数

普通株式

27,666株

・略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

- 2002年 7月 GMOメディアアンドソリューションズ株式会社  
(現GMOメディア株式会社) 入社
- 2003年 3月 GMOメディアアンドソリューションズ株式会社  
(現GMOメディア株式会社) 取締役システム本部長
- 2008年 3月 GMOインターネット株式会社 入社 次世代システム研究室長
- 2011年 3月 GMOインターネット株式会社  
取締役次世代システム研究室長
- 2014年10月 当社グループCTO室長
- 2015年 3月 当社取締役副社長 (現任)  
GMOインターネット株式会社  
常務取締役 次世代システム研究室長 (現任)
- 2016年 1月 GMOアドマーケティング株式会社 取締役 (現任)

候補者  
番号

4



すがや としひこ  
**菅谷 俊彦**

(1968年7月19日生)

**再 任**

所有する当社の株式数

普通株式

**9,939株**

・略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

- 2000年 1月 インターキュー株式会社 (現GMOインターネット株式会社) 入社
- 2001年 7月 インターキュー株式会社 (現GMOインターネット株式会社) 総務本部長
- 2003年 3月 インターキュー株式会社 (現GMOインターネット株式会社) グループ総務本部長
- 2004年 3月 インターキュー株式会社 (現GMOインターネット株式会社) 取締役グループ総務本部長
- 2005年 6月 インターキュー株式会社 (現GMOインターネット株式会社) 取締役グループ総務本部長兼グループ人事担当
- 2007年 2月 インターキュー株式会社 (現GMOインターネット株式会社) 取締役グループ人事・グループ総務担当
- 2013年 3月 インターキュー株式会社 (現GMOインターネット株式会社) 取締役グループ人事部長
- 2016年 3月 当社常務取締役 (現任)
- 2017年 3月 GMOアドマーケティング株式会社 監査役 (現任)  
GMOソリューションパートナー株式会社 監査役 (現任)
- 2017年 6月 GMO NIKKO株式会社 監査役 (現任)  
JWord株式会社  
(現GMOインサイト株式会社) 監査役 (現任)
- 2017年 7月 GMOドリームウェーブ株式会社 取締役 (現任)

候補者  
番号

5



す だ ま さ き  
須 田 昌 樹

(1972年2月10日生)

再 任

所有する当社の株式数  
普通株式  
9,142株

・略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

2013年10月 当社入社 経営企画部エグゼクティブマネージャー  
2017年6月 GMO NIKKO株式会社 監査役（現任）  
GMOアドマーケティング株式会社 監査役（現任）  
GMOソリューションパートナー株式会社 監査役（現任）  
JWord株式会社  
（現GMOインサイト株式会社）監査役（現任）  
当社 取締役（現任）

候補者  
番号

6



い と う み きた か  
伊 藤 幹 高

(1973年7月9日生)

再 任

所有する当社の株式数  
普通株式  
15,447株

・略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

2004年9月 GMOコミュニケーションズ株式会社  
（現GMOソリューションパートナー株式会社）入社  
2006年4月 GMOインターネット株式会社  
法人営業統括本部メディア営業部長  
2008年4月 GMOソリューションパートナー株式会社  
WEBコンサルティング営業本部長  
2009年3月 GMOソリューションパートナー株式会社 取締役  
2012年1月 GMOソリューションパートナー株式会社  
代表取締役社長（現任）  
2014年3月 当社取締役（現任）

候補者  
番号

7



わたなべ けんたろう

**渡部 謙太郎**

(1981年5月15日生)

再 任

所有する当社の株式数

普通株式

**10,902株**

・略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

2004年 1月 当社入社  
2007年 7月 GMOモバイル株式会社  
(現GMOアドマーケティング株式会社) 取締役  
2013年 1月 GMOモバイル株式会社  
(現GMOアドマーケティング株式会社)  
代表取締役社長 (現任)  
2015年 3月 当社取締役 (現任)  
2019年 3月 GMO NIKKO株式会社 取締役 (現任)

候補者  
番号

8



さくま いさむ

**佐久間 勇**

(1980年4月8日生)

再 任

所有する当社の株式数

普通株式

**6,340株**

・略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

2003年 4月 株式会社サンプランニング 入社  
2009年 4月 当社入社 (当社と株式会社サンプランニングが合併)  
2014年 1月 GMO NIKKO株式会社 広告事業本部本部長  
2015年 3月 GMO NIKKO株式会社 取締役  
2018年 3月 当社取締役 (現任)  
GMO NIKKO株式会社 専務取締役  
2019年 3月 GMO NIKKO株式会社 代表取締役社長 (現任)  
GMOアドマーケティング株式会社 取締役 (現任)

候補者  
番号

9



やすだ まさし  
**安田 昌史**

(1971年6月10日生)

再 任

所有する当社の株式数  
普通株式  
—

・略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

- 2000年4月 公認会計士登録  
インターキュー株式会社  
(現GMOインターネット株式会社) 入社
- 2001年9月 グローバルメディアオンライン株式会社  
(現GMOインターネット株式会社) 経営戦略室長
- 2002年3月 グローバルメディアオンライン株式会社  
(現GMOインターネット株式会社) 取締役経営戦略室長
- 2003年3月 グローバルメディアオンライン株式会社  
(現GMOインターネット株式会社)  
常務取締役グループ経営戦略担当兼IR担当
- 2005年3月 グローバルメディアオンライン株式会社  
(現GMOインターネット株式会社)  
専務取締役管理部門統括・グループ経営戦略・IR担当
- 2008年5月 GMOインターネット株式会社  
専務取締役グループ管理部門統括
- 2013年3月 GMOインターネット株式会社  
専務取締役グループ代表補佐 グループ管理部門統括
- 2015年3月 GMOインターネット株式会社  
取締役副社長グループ代表補佐  
グループ管理部門統括 (現任)
- 2016年3月 当社取締役 (現任)  
GMOメディア株式会社 取締役 (現任)  
GMOクラウド株式会社 (現GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社) 取締役 (現任)  
GMOペパボ株式会社 取締役 (現任)  
GMOリサーチ株式会社 取締役 (現任)  
GMO TECH株式会社 取締役 (現任)
- 2016年6月 GMOクリックホールディングス株式会社  
(現GMOフィナンシャルホールディングス株式会社)  
取締役 (現任)  
あおぞら信託銀行株式会社  
(現GMOあおぞらネット銀行株式会社) 社外監査役
- 2016年12月 GMOペイメントゲートウェイ株式会社 取締役 (現任)
- 2019年6月 GMOあおぞらネット銀行株式会社 社外取締役 (現任)

候補者  
番号

10



ありさわ かつみ

有澤 克己

(1973年12月21日生)

再 任

所有する当社の株式数  
普通株式

—

・略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

- 1999年 5月 インターキュー株式会社  
(現GMOインターネット株式会社) 入社
- 2001年 7月 グローバルメディアオンライン株式会社  
(現GMOインターネット株式会社) 経営戦略室マネージャー
- 2001年 9月 税理士登録
- 2003年 3月 グローバルメディアオンライン株式会社  
(現GMOインターネット株式会社) グループ経営戦略室長
- 2004年 4月 グローバルメディアオンライン株式会社  
(現GMOインターネット株式会社) グループ経営戦略本部長
- 2005年 3月 グローバルメディアオンライン株式会社  
(現GMOインターネット株式会社)  
取締役グループ経営戦略本部長
- 2008年 3月 当社社外監査役
- 2008年 5月 GMOインターネット株式会社 取締役グループ財務本部長
- 2009年 1月 GMOインターネット株式会社 取締役グループ財務部長
- 2016年 3月 当社取締役 (現任)  
GMOインターネット株式会社  
常務取締役グループ財務担当兼グループ人事部長
- 2017年 5月 GMOインターネット株式会社  
常務取締役グループ財務担当兼グループ国際化支援室担当  
兼グループ人事部長
- 2017年 7月 GMOドリームウェーブ株式会社 監査役 (現任)
- 2020年 3月 GMOインターネット株式会社  
専務取締役グループ財務担当兼グループ国際化支援室担当兼  
グループ人事部長 (現任)

候補者  
番号

11

とくなが しんいちろう  
**徳永伸一郎**

(1967年6月4日生)

**新 任**

所有する当社の株式数

普通株式

**5,693株**

## ・略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

- 2006年 1月 JWord株式会社 入社
- 2009年 3月 JWord株式会社 取締役
- 2014年 3月 JWord株式会社 取締役副社長
- 2017年 6月 GMOインサイト株式会社 取締役副社長
- 2018年 3月 GMOインサイト株式会社 代表取締役社長（現任）

- (注) 1. 橋口誠氏、熊谷正寿氏、堀内敏明氏、安田昌史氏および有澤克己氏は、当社の親会社であるGMOインターネット株式会社の現在または過去5年以内の業務執行者であるときの地位および担当を略歴に含めて記載しております。なお、熊谷正寿氏は当社の親会社であるGMOインターネット株式会社の代表取締役であり、当社は当該会社との間に営業上の取引関係、金銭の預入の関係があります。
2. 橋口誠氏は、GMO NIKKO株式会社の取締役会長であり、当社は当該会社との間に営業上の取引関係があります。
3. 菅谷俊彦氏および須田昌樹氏と当社との間には特別の利害関係はありません。
4. 伊藤幹高氏は、GMOソリューションパートナー株式会社の代表取締役であり、当社は当該会社との間に営業上の取引関係があります。
5. 渡部謙太郎氏は、GMOアドマーケティング株式会社の代表取締役であり、当社は当該会社との間に営業上の取引関係があります。
6. 佐久間勇氏は、GMO NIKKO株式会社の代表取締役であり、当社は当該会社との間に営業上の取引関係があります。
7. 徳永伸一郎氏は、GMOインサイト株式会社の代表取締役であり、当社は当該会社との間に営業上の取引関係があります。
8. 各候補者の所有する当社の株式数には、当社持株会における本人の持分が含まれています。
9. 当社は橋口誠氏、菅谷俊彦氏、須田昌樹氏、伊藤幹高氏、渡部謙太郎氏、佐久間勇氏および徳永伸一郎氏を被保険者とする役員等賠償責任保険契約を締結しており、被保険者である取締役がその職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害が填補されます。なお、各候補者が取締役に就任した場合は、当該保険契約の被保険者となり、任期中に当該保険契約を更新する予定であります。

以 上

# 事業報告

(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

## 1 企業集団の現況

### (1) 当連結会計年度の事業の状況

#### ① 事業の経過および成果

当社連結企業集団の事業領域であるインターネット広告市場につきましては、2019年度の広告費が2兆1,084億円（前年比19.7%増）となり、6年連続の2桁成長でテレビメディア広告費を超え、媒体別では最も大きな市場となりました（株式会社電通調べ）。

また、消費者の可処分時間におけるインターネットの利用の割合は年々増加する傾向にあり、特に購買意欲の高い20代から40代のインターネットの利用時間は、大きく増えております（総務省「平成30年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」より）。

このような流れを受け、マス広告のように、認知促進を目的として動画広告等を活用するなど、企業における広告活動のより多様な領域においてインターネット広告の活用が進んでおり、当社連結企業集団は、今後も同様の傾向が続くものと見込んでおり、本市場におけるさらなる取扱高の拡大と、市場トレンドに即した柔軟な戦略により、当社連結企業集団の収益の最大化を企図し、事業活動を行っております。

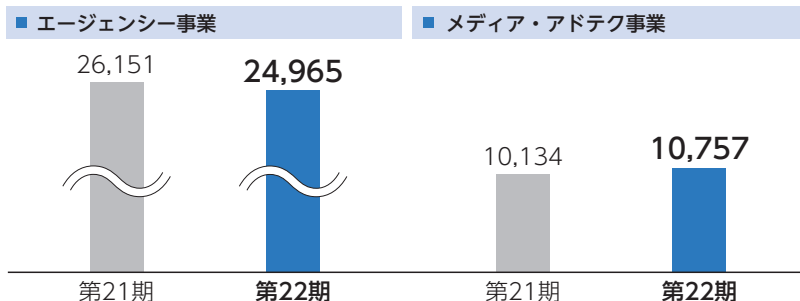
一方で、当連結会計年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大による政治・経済・市民生活の様々な変化がインターネット広告市場にも一定の影響を及ぼすこととなりました。当社連結企業集団におきましても、緊急事態宣言の発出、外出自粛要請等による生活者の消費行動の変化が、業績に一定の影響を及ぼすこととなり、また、当社が事業提携を目的に出資していたGMOタウンWiFi株式会社の株式について、今後の市場環境を鑑み、その帳簿価額を切り下げ、特別損失として179百万円の投資有価証券評価損を計上しております。他方、当連結会計年度より稼働した新オフィスへの移転に伴う費用増加を一定程度見込んでおりましたが、リモートワーク体制の構築等による営業関連費用の削減等により、総費用の増加が抑制される一面もありました。

その結果、当社連結企業集団の当連結会計年度の売上高は34,519百万円（前期比0.1%減）、営業利益は365百万円（同18.0%減）、経常利益は573百万円（同13.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は260百万円（同8.4%増）となりました。

#### ② 部門別概況

##### 部門別売上高

(単位：百万円)





**③ 設備投資の状況**

当連結会計年度中において実施いたしました企業集団の設備投資の総額は124,293千円で、その主なものは次のとおりであります。

|          |           |
|----------|-----------|
| 建物取得     | 7,418千円   |
| 工具器具備品取得 | 9,316千円   |
| ソフトウェア取得 | 107,559千円 |

**④ 資金調達の状況**

該当事項はありません。

**⑤ 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況**

該当事項はありません。

**⑥ 他の会社の事業の譲受けの状況**

該当事項はありません。

**⑦ 吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況**

該当事項はありません。

**⑧ 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得または処分の状況**

当社子会社のGMOソリューションパートナー株式会社は、2020年6月30日付で第三者が所有する自己の株式の全てを取得したため、当社の完全子会社となりました。

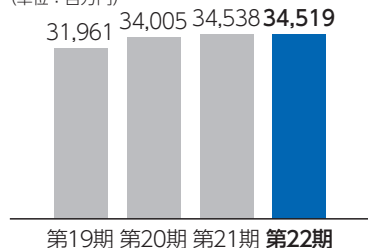
## (2) 財産および損益の状況

| 区 分                  | 第 19 期<br>(2017 年 12 月 期) | 第 20 期<br>(2018 年 12 月 期) | 第 21 期<br>(2019 年 12 月 期) | 第 22 期<br>(当連結会計年度<br>2020 年 12 月 期) |
|----------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------------------|
| 売上高 (千円)             | 31,961,594                | 34,005,004                | 34,538,416                | 34,519,549                           |
| 経常利益 (千円)            | 558,725                   | 561,348                   | 505,694                   | 573,224                              |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (千円) | 163,044                   | 235,554                   | 240,686                   | 260,993                              |
| 1 株当たり当期純利益 (円)      | 9.90                      | 14.35                     | 14.92                     | 16.26                                |
| 総資産 (千円)             | 10,130,174                | 11,094,012                | 11,280,759                | 11,897,518                           |
| 純資産 (千円)             | 4,973,378                 | 5,103,857                 | 5,188,715                 | 5,381,681                            |
| 1 株当たり純資産額 (円)       | 288.43                    | 299.72                    | 308.02                    | 331.09                               |

(注) 1 株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数から期中平均自己株式数を控除した株式数により算出しております。

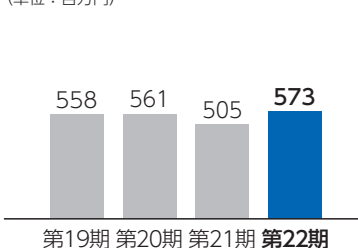
### ■ 売上高

(単位：百万円)



### ■ 経常利益

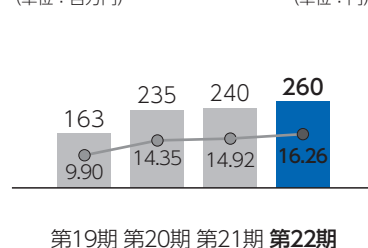
(単位：百万円)



### ■ 親会社株主に帰属する当期純利益 ● 1株当たり当期純利益

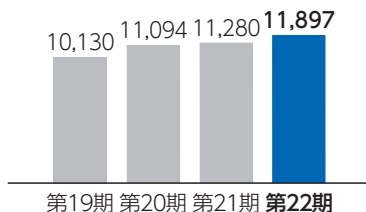
(単位：百万円)

(単位：円)



### ■ 総資産

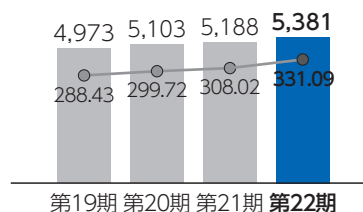
(単位：百万円)



### ■ 純資産 ● 1株当たり純資産額

(単位：百万円)

(単位：円)



### (3) 重要な親会社および子会社の状況

#### ① 親会社の状況

##### 1. 親会社との関係

当社の親会社はGMOインターネット株式会社およびGMOアドホールディングス株式会社であります。GMOインターネット株式会社は、当社普通株式1,557,200株（議決権比率9.70%）を直接所有するとともに、当社普通株式7,632,000株（議決権比率47.55%）を所有するGMOアドホールディングス株式会社の親会社であります。

| 親会社               | 親会社の議決権<br>所有割合 (%) | 主要な事業内容     |
|-------------------|---------------------|-------------|
| GMOインターネット株式会社    | 57.26<br>(47.55)    | インターネット総合事業 |
| GMOアドホールディングス株式会社 | 47.55               | インターネット広告事業 |

(注) 親会社の議決権所有割合欄の ( ) 内は間接被所有割合であり、所有割合の内数であります。

##### 2. 親会社等との間の取引に関する事項

当社は親会社であるGMOインターネット株式会社とは営業上の取引関係、金銭の預入の関係および役員の兼務の関係があり、GMOアドホールディングス株式会社とは役員の兼務の関係があります。

当社は、親会社等との取引に関して、市場実勢価格や市場金利等を勘案して取引条件等を決定しておりますので妥当性があると考えております。また、当社取締役会を中心とした当社独自の意思決定を行っており、意思決定手続については問題はないものと考えております。

#### ② 重要な子会社の状況

| 会社名                 | 資本金       | 当社の議決権<br>比率 | 主要な事業内容     |
|---------------------|-----------|--------------|-------------|
| GMOアドマーケティング株式会社    | 100,000千円 | 100.00%      | メディア・アドテク事業 |
| GMO NIKKO株式会社       | 100,000千円 | 100.00%      | エージェンシー事業   |
| GMOインサイト株式会社        | 50,000千円  | 100.00%      | メディア・アドテク事業 |
| GMOソリューションパートナー株式会社 | 100,000千円 | 100.00%      | エージェンシー事業   |

(注) 1. 特定完全子会社に該当する子会社はありません。

2. 当社子会社のGMOソリューションパートナー株式会社は、2020年6月30日付で第三者が所有する自己の株式の全てを取得したため、当社の完全子会社となりました。

#### (4) 経営方針、経営環境および対処すべき課題等

当社は、事業基盤の確立のため、以下の取り組みを重点課題とし、企業体制の強化を進めてまいります。

##### インターネット広告事業における課題

当社及び当社連結法人（以下総称して「当社連結企業集団」）は継続してインターネット広告事業に重点を置き、業界をリードするプロ集団を目指すにあたり、競合他社に対する優位性を確保する施策を講じ実現するために、次の点を経営課題として認識しております。

##### 1. 自社商品・サービスの開発の強化

当社連結企業集団のインターネット広告市場に及ぼす影響力を高めるため、自社商品・サービスの開発力を引き続き強化してまいります。

この方針の実現に向けて、インターネット広告事業特有の問題を技術的に解決できる開発体制を強化し、広告主には選ばれる自社ブランド商品・サービスの拡充に向けて取り組んでまいります。

##### 2. 自社商品・サービスの提案・運用力の強化

アド Fraud（広告詐欺）等のインターネット広告における課題に向けてPDCAサイクルを高速化し、自社商品・サービスの提供・運用力強化に、引き続き取り組んでまいります。

この実現に向けて、既存業務の効率化や人材育成・拡充などの組織強化を徹底するとともに、既存の協会社との販売体制を強化・継続することで、サービスの管理体制強化につなげ、市場シェアの拡大を目指してまいります。

##### 3. 優秀な人材の獲得と育成、組織の強化

インターネット広告業界をリードするプロ集団を目指すにあたり、高い倫理観を持つ人材の育成は、重要な経営課題の一つとして認識し、継続して取り組んでまいります。

特に、コンプライアンスに対する高い意識付けを目的とした教育・研修や、人材の長期継続雇用体制の構築を目的とした人材育成フォローアップ制度の拡充を図ってまいります。

また、より良い組織と職場環境の構築を目的としたエンゲージメント施策を講じ、当社連結経営と事業・サービスに関与する全ての役職員の声・組織の状態を可視化することで、外的要因に左右されない強い組織づくりを進めてまいります。

##### 4. 内部統制の拡充

株主・投資家の判断基準となる企業会計の信ぴょう性は、業務・内部管理体制及びコンプライアンス意識の不全により損なわれることを強く認識し、当社に寄せられる信頼に応え続けるべく、引き続き、業務・内部管理体制の拡充、及びコンプライアンス意識の向上に努めてまいります。

## 5. 突発的な外的環境変化への対応と社内環境の整備

天災地変・感染症などの外的要因による当社連結企業集団の事業・サービスの停止や業績への影響を回避・軽減するべく、社内システム等の業務基盤の整備、指揮命令システムの連携体制を適宜見直すなど、既存のBCP対策に対して必要に応じて改善を進めてまいります。また、外的要因の環境変化をいち早く感知し、柔軟に対応していくための組織体制の強化を実行してまいります。

特に、当連結会計年度において発生した新型コロナウイルスの感染拡大に対し、当社連結企業集団の大切な経営資産である役職員の安全を最優先するとともに、現在の環境が一定の期間にわたって継続することを前提に、事業継続を担保し、新たな外部環境に対応できる仕組みの維持・改善に努めてまいります。

## (5) 主要な事業内容（2020年12月31日現在）

当社連結企業集団の主要な事業は、「エージェンシー事業」および「メディア・アドテク事業」であります。

## (6) 主要な営業所（2020年12月31日現在）

|                     |    |         |
|---------------------|----|---------|
| 当 社                 | 本社 | ：東京都渋谷区 |
| GMOアドマーケティング株式会社    | 本社 | ：東京都渋谷区 |
| GMO NIKKO株式会社       | 本社 | ：東京都渋谷区 |
| GMOインサイト株式会社        | 本社 | ：東京都渋谷区 |
| GMOソリューションパートナー株式会社 | 本社 | ：東京都渋谷区 |

## (7) 使用人の状況（2020年12月31日現在）

### ① 企業集団の使用人の状況

| 事業区分        | 使用人数        | 前連結会計年度末比増減 |
|-------------|-------------|-------------|
| エージェンシー事業   | 433 (94) 名  | 30名増 (44名減) |
| メディア・アドテク事業 | 134 (14) 名  | 10名増 (6名減)  |
| 全社 (共通)     | 53 (9) 名    | 7名増 (1名増)   |
| 合 計         | 620 (117) 名 | 47名増 (49名減) |

(注) 使用人数は就業員数であり、パートおよび嘱託社員は ( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

**② 当社の使用人の状況**

| 使用人数     | 前事業年度末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|----------|-----------|-------|--------|
| 53 (9) 名 | 7名増 (1名増) | 35.2歳 | 5.2年   |

(注) 使用人数は就業人数であり(当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む)、臨時従業員である契約社員およびアルバイト等は( )内に年間の平均人員を外数で記載しております。

**(8) 主要な借入先の状況 (2020年12月31日現在)**

該当事項はありません。

**(9) その他連結企業集団の現況に関する重要な事項**

該当事項はありません。

## 2 会社の現況

### (1) 株式の状況（2020年12月31日現在）

- |              |             |
|--------------|-------------|
| ① 発行可能株式総数   | 60,800,000株 |
| ② 発行済株式の総数   | 16,757,200株 |
| ③ 株主数        | 7,488名      |
| ④ 大株主（上位10名） |             |

| 株主名                 | 持株数        | 持株比率   |
|---------------------|------------|--------|
| GMOアドホールディングス株式会社   | 7,632,000株 | 47.55% |
| 株式会社ネットアイアールディー     | 2,666,000株 | 16.61% |
| GMOインターネット株式会社      | 1,557,200株 | 9.70%  |
| 株式会社サイバー・コミュニケーションズ | 400,200株   | 2.49%  |
| 藤島 満                | 209,400株   | 1.30%  |
| GMOアドパートナーズ役員持株会    | 103,300株   | 0.64%  |
| GMOアドパートナーズ従業員持株会   | 87,600株    | 0.54%  |
| 日本証券金融株式会社          | 70,500株    | 0.43%  |
| 株式会社SBI証券           | 60,038株    | 0.37%  |
| JPモルガン証券株式会社        | 53,500株    | 0.33%  |

(注) 持株比率は、自己株式（707,467株）を控除して計算しております。

## (2) 新株予約権等の状況

### ① 当社役員が保有している職務執行の対価として交付された新株予約権の状況（2020年12月31日現在）

|                       |               | 第5回新株予約権                     |         |
|-----------------------|---------------|------------------------------|---------|
| 発行決議日                 |               | 2012年7月23日                   |         |
| 新株予約権の数               |               | 235個                         |         |
| 新株予約権の目的となる株式の種類と数    |               | 普通株式                         | 47,000株 |
|                       |               | (新株予約権1個につき)                 | 200株    |
| 新株予約権の発行価額            |               | 無償                           |         |
| 新株予約権の権利行使時の1株当たり払込金額 |               | 278円                         |         |
| 権利行使期間                |               | 2014年7月24日から<br>2021年7月23日まで |         |
| 行使の条件                 |               | (注)                          |         |
| 役員の<br>保有状況           | 取締役（監査等委員を除く） | 新株予約権の数：                     | 74個     |
|                       |               | 目的となる株式数：                    | 14,800株 |
|                       |               | 保有者数                         | 3人      |
|                       | 取締役（監査等委員）    | 新株予約権の数                      | －個      |
|                       |               | 目的となる株式数：                    | －株      |
|                       |               | 保有者数：                        | －人      |

(注) 新株予約権の行使の条件

1. 新株予約権の割当を受けた者（以下「本新株予約権者」という。）は、本新株予約権の行使時まで継続して、当社の取締役、若しくは従業員または当社子会社の取締役、監査役若しくは従業員の地位を有していることを要する。
2. 本新株予約権者は本新株予約権の買入れ、担保権の設定および相続は認めない。
3. 本新株予約権者は1個の新株予約権を分割して行使することはできない。
4. その他の条件については新株予約権付与契約書に定めるところによる。

### ② 当事業年度中に職務執行の対価として使用人等に対し交付した新株予約権の状況

該当事項はありません。



### (3) 会社役員 の 状況

#### ① 取締役の状況（2020年12月31日現在）

| 会社における地位 | 氏 名     | 担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                          |
|----------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役社長  | 橋 口 誠   | GMOインターネット株式会社取締役グループ広告部門統括<br>GMOアドホールディングス株式会社取締役<br>GMOアドマーケティング株式会社取締役<br>GMO NIKKO株式会社取締役会長<br>GMOインサイト株式会社取締役<br>GMOソリューションパートナー株式会社取締役<br>GMOドリームウェブ株式会社代表取締役社長                                 |
| 取締役会長    | 熊 谷 正 寿 | GMOインターネット株式会社代表取締役会長兼社長グループ代表<br>GMOアドホールディングス株式会社代表取締役社長<br>GMOペイメントゲートウェイ株式会社取締役会長<br>GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社取締役会長<br>GMOペパボ株式会社取締役会長<br>GMOリサーチ株式会社取締役会長<br>GMO TECH株式会社取締役会長<br>GMOメディア株式会社取締役会長 |
| 取締役副社長   | 堀 内 敏 明 | GMOインターネット株式会社常務取締役次世代システム研究室長<br>GMOアドマーケティング株式会社取締役                                                                                                                                                  |
| 常務取締役    | 菅 谷 俊 彦 | GMOアドマーケティング株式会社監査役<br>GMO NIKKO株式会社監査役<br>GMOインサイト株式会社監査役<br>GMOソリューションパートナー株式会社監査役<br>GMOドリームウェブ株式会社取締役                                                                                              |
| 取締役      | 須 田 昌 樹 | GMOアドマーケティング株式会社監査役<br>GMO NIKKO株式会社監査役<br>GMOインサイト株式会社監査役<br>GMOソリューションパートナー株式会社監査役                                                                                                                   |
| 取締役      | 伊 藤 幹 高 | GMOソリューションパートナー株式会社代表取締役社長                                                                                                                                                                             |
| 取締役      | 渡 部 謙太郎 | GMOアドマーケティング株式会社代表取締役社長<br>GMO NIKKO株式会社取締役                                                                                                                                                            |
| 取締役      | 佐久間 勇   | GMO NIKKO株式会社代表取締役社長<br>GMOアドマーケティング株式会社取締役                                                                                                                                                            |

| 会社における地位         | 氏名     | 担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                 |
|------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役              | 安田 昌史  | GMOインターネット株式会社取締役副社長グループ代表補佐 グループ管理部門統括<br>GMOペイメントゲートウェイ株式会社取締役<br>GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社取締役<br>GMOペパボ株式会社取締役<br>GMOフィナンシャルホールディングス株式会社取締役<br>GMOリサーチ株式会社取締役<br>GMO TECH株式会社取締役<br>GMOメディア株式会社取締役<br>GMOあおぞらネット銀行株式会社社外取締役 |
| 取締役              | 有澤 克己  | GMOインターネット株式会社専務取締役グループ財務担当兼グループ国際化支援室担当兼グループ人事部長<br>GMOドリームウェーブ株式会社監査役                                                                                                                                                       |
| 取締役<br>(常勤監査等委員) | 岩濱 みゆき | －                                                                                                                                                                                                                             |
| 取締役<br>(監査等委員)   | 杉野 知包  | －                                                                                                                                                                                                                             |
| 取締役<br>(監査等委員)   | 熊谷 文麿  | 佐藤総合法律事務所弁護士<br>GMOクリック証券株式会社監査役                                                                                                                                                                                              |
| 取締役<br>(監査等委員)   | 稲葉 幹次  | GMOインターネット株式会社相談役<br>GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社取締役                                                                                                                                                                              |

- (注) 1. 取締役(常勤監査等委員)岩濱みゆき氏、取締役(監査等委員)杉野知包氏および熊谷文麿氏は社外取締役であります。
2. 監査等委員会の監査・監督機能を強化するため、取締役(監査等委員を除く)からの情報収集及び重要な社内会議における情報共有並びに内部監査部門と監査等委員会との十分な連携を可能とすべく、常勤の監査等委員を選定しております。
3. 当社は、取締役(常勤監査等委員)岩濱みゆき氏、取締役(監査等委員)杉野知包氏および熊谷文麿氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
4. 取締役(常勤監査等委員)岩濱みゆき氏、取締役(監査等委員)杉野知包氏および熊谷文麿氏につきまして、それぞれ、財務、会計および法務に関する相当程度の知見を有するものであります。

**② 責任限定契約の内容の概要**

当社と取締役（監査等委員）の岩濱みゆき氏、杉野知包氏および熊谷文麿氏は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償の限度額は、同法第425条第1項各号の合計額としております。

**③ 取締役の報酬等の総額**

| 区 分                        | 支給人員      | 支給額             |
|----------------------------|-----------|-----------------|
| 取締役（監査等委員を除く）<br>（うち社外取締役） | 3名<br>（－） | 86,157千円<br>（－） |
| 取締役（監査等委員）<br>（うち社外取締役）    | 3名<br>（3） | 12,450千円<br>（－） |
| 合 計<br>（うち社外役員）            | 6名<br>（3） | 98,607千円<br>（－） |

- (注) 1. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。  
 2. 取締役（監査等委員を除く）の報酬限度額は、2016年3月20日開催の第17期定時株主総会において年額200,000千円以内（ただし、使用人分給与は含まない。）と決議いただいております。  
 3. 取締役（監査等委員）の報酬限度額は、2016年3月20日開催の第17期定時株主総会において年額30,000千円以内と決議いただいております。  
 4. 上記の支給額には以下のものが含まれております。  
 当事業年度における取締役（監査等委員を除く）3名に対する役員賞与引当金の繰入額12,106千円。  
 5. 上記のほか、社外役員が当社親会社又は当社親会社等の子会社等から受けた役員としての報酬額は、年額4,200千円です。

**④ 社外役員に関する事項**

- 他の法人等の重要な兼職の状況および当社と当該他の法人等との関係
  - 取締役（監査等委員）熊谷文麿氏は、佐藤総合法律事務所の弁護士を兼務しております。当社は佐藤総合法律事務所との間で法律顧問契約を締結しております。

## 2. 当事業年度における主な活動状況

|                |     |     | 活動状況                                                                                                                                                     |
|----------------|-----|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役<br>(監査等委員) | 岩 濱 | みゆき | 取締役（監査等委員）就任後に開催された取締役会14回のうち14回に出席し、また開催された監査等委員会10回のうち10回に出席いたしました。出席した取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性、適正性を確保するための発言を行っております。また出席した監査等委員会において、適宜、必要な発言を行っております。 |
| 取締役<br>(監査等委員) | 杉 野 | 知 包 | 当事業年度に開催された取締役会17回のうち17回に出席し、また開催された監査等委員会13回のうち13回に出席いたしました。出席した取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性、適正性を確保するための発言を行っております。また出席した監査等委員会において、適宜、必要な発言を行っております。         |
| 取締役<br>(監査等委員) | 熊 谷 | 文 麿 | 当事業年度に開催された取締役会17回のうち17回に出席し、また開催された監査等委員会13回のうち13回に出席いたしました。出席した取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性、適正性を確保するための発言を行っております。また出席した監査等委員会において、適宜、必要な発言を行っております。         |

## (4) 会計監査人の状況

① 名称 有限責任監査法人トーマツ

### ② 報酬等の額

|                                      | 支払額      |
|--------------------------------------|----------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額                  | 40,200千円 |
| 当社および子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 40,200千円 |

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 当社監査等委員会は、日本監査役協会が公表する「会計監査人との連携に関する実務指針」を踏まえ、監査計画における監査時間および監査報酬の推移ならびに過年度の監査計画と実績の状況を確認し、報酬額の見積もりの妥当性を検討した結果、会計監査人の報酬等につき、会社法第399条第1項の同意を行っております。

### ③ 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

当社監査等委員会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合には、監査等委員全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査等委員会が選定した監査等委員は、解任した旨及び解任の理由を解任後最初に招集される株主総会において報告いたします。

また、当社監査等委員会は、会計監査人の執行状況等を総合的に勘案し、会計監査人の変更が必要であると認められる場合には、株主総会に提出する会計監査人の解任または不再任に関する議案の内容を決定いたします。

### ④ 責任限定契約の内容の概要

該当事項はありません。

### ⑤ 子会社の監査に関する事項

該当事項はありません。

## (5) 業務の適正を確保するための体制

取締役の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制その他会社の業務の適正を確保するための体制についての決定内容の概要は以下のとおりであります。

### ① 当社連結企業集団の取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

当社ならびに当社子会社から成る企業集団（以下、「当社連結企業集団」という。）では、文書管理規程および情報セキュリティポリシーなどによる社内規則類の定めに基づき、取締役の職務の執行に係る情報を文書または電磁的情報により記録し、文書管理規程に定める保管場所に、文書の分類ごとと同じく同規程に定められた期間保存することにより適切な管理および保管を行います。

当社連結企業集団の監査等委員および内部監査室は、その権限において、文書等の閲覧および謄写を行うことができます。

### ② 当社連結企業集団の損失の危険の管理に関する規程その他の体制

当社連結企業集団では、リスク管理規程をはじめとした損失の危険の管理に関する規程等を制定し、各種取引から発生する損失の危険を最小限にすべく対応しています。

また、当社連結企業集団では、取締役を構成員（常勤監査等委員は任意出席）として、会社の取締役会の委嘱を受けた事項、その他経営に関する重要事項を協議または決議する経営会議を設置しており、当該会議体を原則毎週開催することにより、日々の取引の状況を詳細に把握し、会社に損害を及ぼす恐れのある事実の早期発見に努めております。

更に、当社では「リスク管理委員会」を設置して、月次のリスク情報にかかる報告および共有の他、四半期に一度の頻度でリスク分析を目的とした会議体を開催することにより、当社連結企業集団に損害を及ぼす恐れのあるリスク情報の発見と分析、この結果を踏まえたリスク発生防止およびリスク再発防止策の立案検討、およびその発現への対処に努めております。

### ③ 当社連結企業集団の取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

当社連結企業集団では、各取締役の担当事業部門を明確にしており、各期の業績に対する経営責任を明確にするため、2016年3月20日より、取締役（監査等委員であるものを除く）の任期を1年と定め、毎年当該取締役一人ひとりの業績評価を厳格に行うことにより、その業務執行の効率性を向上させております。

定例の経営会議および当社連結企業集団横断の幹部メンバーによる会議を原則毎週開催し、経営の重要事項の決定や職務執行状況の把握を適時に行うことにより職務の効率性を常に検証しております。

#### 4 当社連結企業集団の取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

当社連結企業集団は、GMOインターネットグループの培ってきたマインドを「GMOインターネットグループ スピリットベンチャー宣言」として共有して企業活動の原点として遂行し、また、「GMOインターネットグループ コンプライアンス要綱」の下、法令および社内規程類・社会倫理を遵守（コンプライアンス）するための体制を維持しております。

経営意思決定ならびに職務執行の報告の場である取締役会では、全ての議題に監査等委員会の意見を求め、経営判断の適法性および妥当性の確認を行っております。

「コンプライアンス研修」を開催し、また、「GMOヘルプライン制度」の利用により、相談・通報体制を運用し、不正行為等の予防、早期発見および自浄作用の実効性を図り、会社のコンプライアンス経営の強化に取り組んでいます。

「内部監査室」は、業務執行が法令・定款等に適合しているかについて定期的に監査を実施しております。

#### 5 当社連結企業集団における業務の適正を確保するための体制

当社では、当社連結企業集団全社の社長を含めた、当社連結企業集団横断の幹部メンバーによる会議を原則毎週開催し、当社連結企業集団各社の経営活動の成果等を把握し、予算統制を的確に行っております。

当社連結企業集団各社には、当社より取締役若しくは監査役を一定数派遣し、業務執行の状況について常時把握し、関係会社管理規程に定める一定の重要な意思決定事項については、予め当社取締役会または経営会議に報告することにより、連結企業集団全体としての業務の適正性を確保しています。

また、当社連結企業集団に向けて、コンプライアンスに関する教育・研修体制を整え、不正行為等の予防、早期発見および自浄作用の実効性を図り、連結企業集団全体としてのコンプライアンス経営の強化に取り組んでいます。

さらに、「内部監査室」を設置し、当社連結企業集団各社への業務執行、管理状況についての内部監査を行い、業務の適正を確保する体制を構築しています。

なお、前記「リスク管理委員会」が、原則、四半期に1回、グループのリスク管理状況について取締役会へ報告することにより、更なる業務の適正性が確保されるよう努めております。

#### 6 監査等委員会がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項

当社では、監査等委員会の職務を補助すべき使用人の設置を行っておりませんが、必要に応じて、監査等委員会職務補助のためスタッフの設置等の対応をしております。

#### 7 第⑥号の使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項

第⑥号の使用人を設置する場合、その補助業務に関しては、監査等委員会の指揮命令にのみ服するものとし、取締役および他の業務執行組織の指揮命令を受けないものとするにより、監査等委員会の職務を補助する使用人に対する指示の実効性を確保することとします。



**8 第⑥号の使用人の取締役（監査等委員である取締役を除く）からの独立性に関する事項**

第⑥号の使用人を設置する場合には、その独立性を確保するため、スタッフの任命、異動、人事考課等の人事権に係る事項の決定は、事前に監査等委員会の同意を得ることとします。

**9 取締役および使用人が監査等委員会に報告をするための体制**

当社では、監査等委員である取締役が、取締役会はもとより経営会議等重要な会議へ出席するとともに、重要な決裁書類等を閲覧し、必要に応じて取締役等にその説明を求め、重要な意思決定の過程および業務の執行状況を把握しています。

当社の取締役（監査等委員である取締役を除く）は、会社に著しい損害を及ぼす恐れのある事実があることを発見した場合には、法令に従い、速やかに監査等委員会に報告することとしています。

また、監査等委員会は、当社の会計監査人から会計監査ならびに内部監査室から内部監査の内容について説明を受けるとともに、情報交換を図り連携体制を構築しています。

**10 子会社の取締役および使用人が当社監査等委員会に報告をするための体制**

当社では、子会社との間で、予め、子会社の取締役、監査役、使用人等またはこれらの者から報告を受けた者が、子会社の取締役会もしくは監査役を介してまたは直接に、当社の取締役（監査等委員である取締役を除く）、監査等委員会、使用人等に報告することができる体制を整備することとしています。

**11 前2号の報告をしたものが当該報告をしたことを理由として不利な取り扱いを受けないことを確保するための体制**

(1) 監査等委員会は、取締役または使用人から得た情報について、第三者に対する報告義務を負わないこととします。

(2) 監査等委員会は、報告した使用人の異動、人事評価および懲戒等に関して、取締役にその理由の開示を求めることができるものとします。

**12 監査等委員である取締役の職務の執行について生ずる費用の前払または償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用または債務の処理に係る方針に関する事項**

当社は、監査等委員である取締役がその職務の執行について生ずる費用の前払または支出した費用等の償還、負担した債務の弁済を請求したときは、その費用等が監査等委員の職務の執行について生じたものでないことを証明できる場合を除き、これに応じるものとします。

**13 その他監査等委員会の監査が実効的に行われることを確保するための体制**

監査等委員である取締役と代表取締役は、相互の意思疎通を図るため、定期的に打ち合わせを設けています。

また、会計監査人ならびに内部監査室とも定期的に打ち合わせを設けています。



## (6) 業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要

取締役の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制その他会社の業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要は以下のとおりであります。

### ① 内部統制システム全般

当社および当社連結企業集団各社の内部統制システム全般の整備・運用状況を当社の内部監査室がモニタリングし、改善を進めております。

### ② コンプライアンス

当社は、当社および当社連結企業集団各社の使用人に対し、コンプライアンスについて社内研修での教育を行い、法令および定款を遵守するための取り組みを継続的に行っております。

また、当社および当社連結企業集団各社は、「GMOヘルプライン制度」の利用により相談・通報体制を運用し、不正行為等の予防、早期発見および自浄作用の実効性向上に努めております。

### ③ リスク管理体制

当社は、リスク管理委員会において、当社連結企業集団に損害を及ぼす恐れのあるリスク情報の早期発見と、その発現への対処に努めております。

### ④ 内部監査

内部監査室が作成した内部監査計画に基づき、当社および当社連結企業集団各社の内部監査を実施しております。

## (7) 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しており、各事業年度の業績、企業体質の強化と今後の事業展開を総合的に勘案しつつ、連結ベースの配当性向50%を目標とすることを基本方針としてまいりました。

また、配当回数につきましては、当社は株主総会を決定機関として年1回の配当を行うことを基本方針としておりますが、迅速かつ機動的な資本政策の実行を図るとともに、株主の皆様への速やかな利益還元を目的とした四半期配当の将来的な実施を見越し、基準日を毎年3月31日、6月30日、9月30日、12月31日として当社定款に定めております。

このような方針に基づき、2020年12月期の配当につきましては1株当たり8円20銭の年間配当の実施を予定しております。

また、2021年12月期の配当につきましては上記基本方針に基づき、1株当たり8円80銭の年間配当の実施を予定しております。

## 連結計算書類

連結貸借対照表 (2020年12月31日現在)

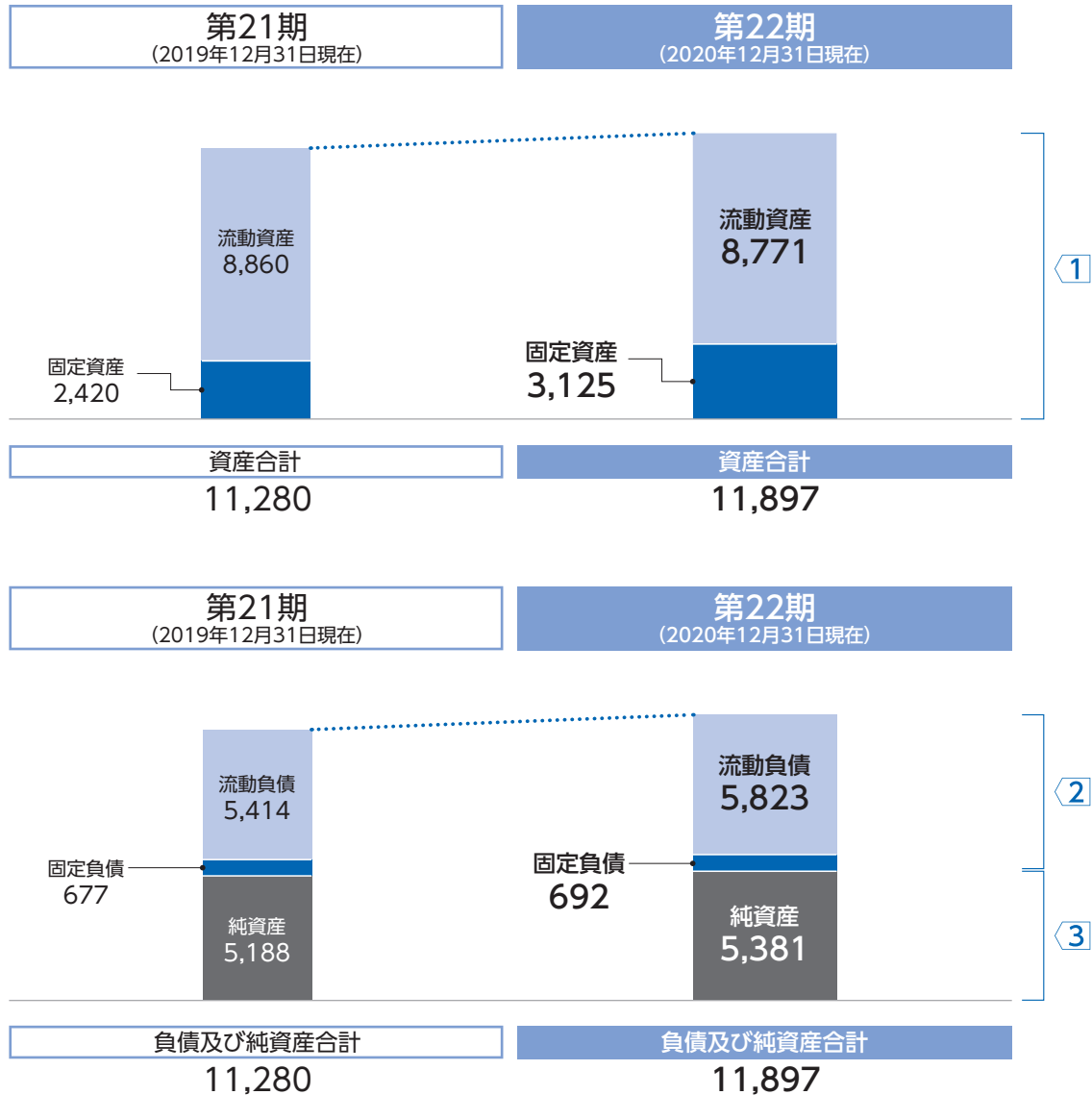
(単位：千円)

| 科目              | 第22期              | 科目               | 第22期              |
|-----------------|-------------------|------------------|-------------------|
| <b>● 資産の部</b>   |                   | <b>● 負債の部</b>    |                   |
| <b>流動資産</b>     | <b>8,771,633</b>  | <b>流動負債</b>      | <b>5,823,256</b>  |
| 現金及び預金          | 5,011,022         | 買掛金              | 3,991,323         |
| 受取手形及び売掛金       | 3,671,663         | 未払金              | 369,515           |
| たな卸資産           | 3,051             | 未払法人税等           | 121,586           |
| その他             | 123,640           | 未払消費税等           | 101,292           |
| 貸倒引当金           | △37,743           | 賞与引当金            | 102,529           |
| <b>固定資産</b>     | <b>3,125,884</b>  | 役員賞与引当金          | 28,290            |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>362,810</b>    | その他              | 1,108,719         |
| 建物              | 282,968           | <b>固定負債</b>      | <b>692,580</b>    |
| 工具器具及び備品        | 79,842            | 繰延税金負債           | 47,949            |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>272,640</b>    | 資産除去債務           | 154,967           |
| ソフトウェア          | 203,617           | その他              | 489,662           |
| その他             | 69,022            | <b>負債合計</b>      | <b>6,515,837</b>  |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>2,490,433</b>  | <b>● 純資産の部</b>   |                   |
| 投資有価証券          | 1,035,550         | <b>株主資本</b>      | <b>4,883,395</b>  |
| 関係会社長期預け金       | 860,000           | 資本金              | 1,301,568         |
| 繰延税金資産          | 207,271           | 資本剰余金            | 2,133,568         |
| その他             | 419,046           | 利益剰余金            | 1,701,274         |
| 貸倒引当金           | △31,435           | 自己株式             | △253,016          |
| <b>資産合計</b>     | <b>11,897,518</b> | その他の包括利益累計額      | 430,628           |
|                 |                   | その他有価証券評価差額金     | 430,628           |
|                 |                   | 新株予約権            | 38,539            |
|                 |                   | 非支配株主持分          | 29,119            |
|                 |                   | <b>純資産合計</b>     | <b>5,381,681</b>  |
|                 |                   | <b>負債及び純資産合計</b> | <b>11,897,518</b> |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## (ご参考) 連結貸借対照表のポイント

(単位：百万円)



## 1 資産

当連結会計年度末における資産合計は、11,897百万円（前連結会計年度末は11,280百万円）と616百万円の増加となりました。

流動資産につきましては、8,771百万円（前連結会計年度末は8,860百万円）と88百万円の減少となりました。主な要因は、関係会社預け金を短期から長期に振り替えたことにより零（前連結会計年度末は800百万円）と800百万円の減少、流動資産その他が123百万円（前連結会計年度末は375百万円）と251百万円減少した一方で、現金及び預金が5,011百万円（前連結会計年度末は4,050百万円）と960百万円増加したこと等によるものであります。なお、関係会社預け金はGMOインターネットグループ全体で資金運用を行うために導入しているキャッシュマネジメントシステム（CMS）を利用しているものであります。

固定資産につきましては3,125百万円（前連結会計年度末は2,420百万円）と705百万円の増加となりました。主な要因は、短期から振り替えたことにより関係会社長期預け金が860百万円（前連結会計年度末は零）と860百万円の増加、投資有価証券が1,035百万円（前連結会計年度末は896百万円）と138百万円増加した一方で、投資その他の資産その他が419百万円（前連結会計年度末は640百万円）と221百万円減少したこと等によるものであります。

## 2 負債

当連結会計年度末における負債合計は、6,515百万円（前連結会計年度末は6,092百万円）と423百万円の増加となりました。

流動負債につきましては5,823百万円（前連結会計年度末は5,414百万円）と408百万円の増加となりました。主な要因は、流動負債その他が1,108百万円（前連結会計年度末は779百万円）と329百万円の増加、未払法人税等が121百万円（前連結会計年度末は33百万円）と88百万円増加した一方で、買掛金が3,991百万円（前連結会計年度末は4,017百万円）と26百万円の減少、未払金が369百万円（前連結会計年度末は440百万円）と71百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債につきましては692百万円（前連結会計年度末は677百万円）と15百万円の増加となりました。主な要因は、繰延税金負債が47百万円（前連結会計年度末は29百万円）と18百万円増加したこと等によるものであります。

## 3 純資産

当連結会計年度末における純資産合計は、5,381百万円（前連結会計年度末は5,188百万円）と192百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金の増加140百万円（親会社株主に帰属する当期純利益の計上により260百万円の増加、配当金の支払いにより120百万円の減少）を計上したこと等によるものであります。

## 連結損益計算書 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

| 科 目             | 第22期    |            |
|-----------------|---------|------------|
|                 |         |            |
| 売上高             |         | 34,519,549 |
| 売上原価            |         | 28,586,426 |
| 売上総利益           |         | 5,933,123  |
| 販売費及び一般管理費      |         | 5,567,709  |
| 営業利益            |         | 365,413    |
| 営業外収益           |         |            |
| 受取利息            | 3,150   |            |
| 受取配当金           | 7,020   |            |
| 為替差益            | 34,582  |            |
| 補助金収入           | 5,547   |            |
| 投資事業組合運用益       | 160,049 |            |
| その他             | 9,540   | 219,889    |
| 営業外費用           |         |            |
| 支払利息            | 3       |            |
| 持分法による投資損失      | 11,979  |            |
| その他             | 94      | 12,078     |
| 経常利益            |         | 573,224    |
| 特別損失            |         |            |
| 固定資産売却損         | 1,016   |            |
| 投資有価証券評価損       | 179,210 | 180,227    |
| 税金等調整前当期純利益     |         | 392,997    |
| 法人税、住民税及び事業税    | 215,294 |            |
| 法人税等調整額         | △99,441 | 115,853    |
| 当期純利益           |         | 277,144    |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 |         | 16,151     |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 |         | 260,993    |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

|                           | 株 主 資 本   |           |           |          |           |
|---------------------------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|
|                           | 資 本 金     | 資本剰余金     | 利益剰余金     | 自己株式     | 株主資本合計    |
| 2020年1月1日 残高              | 1,301,568 | 2,136,308 | 1,560,640 | △253,664 | 4,744,853 |
| 連結会計年度中の変動額               |           |           |           |          |           |
| 剰余金の配当                    |           |           | △120,358  |          | △120,358  |
| 連結子会社株式の取得による持分の増減        |           | △2,849    |           |          | △2,849    |
| 親会社株主に帰属する当期純利益           |           |           | 260,993   |          | 260,993   |
| 自己株式の取得                   |           |           |           | △36      | △36       |
| 自己株式の処分                   |           | 108       |           | 684      | 793       |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) |           |           |           |          |           |
| 連結会計年度中の変動額合計             | —         | △2,740    | 140,634   | 647      | 138,541   |
| 2020年12月31日 残高            | 1,301,568 | 2,133,568 | 1,701,274 | △253,016 | 4,883,395 |

(単位：千円)

|                           | その他の包括利益累計額      |                                                          | 新株予約権  | 非支配株主持分  | 純資産合計     |
|---------------------------|------------------|----------------------------------------------------------|--------|----------|-----------|
|                           | その他有価証券<br>評価差額金 | そ<br>の<br>他<br>の<br>利<br>益<br>の<br>計<br>算<br>額<br>合<br>計 |        |          |           |
| 2020年1月1日 残高              | 198,321          | 198,321                                                  | 28,397 | 217,142  | 5,188,715 |
| 連結会計年度中の変動額               |                  |                                                          |        |          |           |
| 剰余金の配当                    |                  |                                                          |        |          | △120,358  |
| 連結子会社株式の取得による持分の増減        |                  |                                                          |        | △196,123 | △198,972  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益           |                  |                                                          |        |          | 260,993   |
| 自己株式の取得                   |                  |                                                          |        |          | △36       |
| 自己株式の処分                   |                  |                                                          |        |          | 793       |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) | 232,306          | 232,306                                                  | 10,142 | 8,099    | 250,547   |
| 連結会計年度中の変動額合計             | 232,306          | 232,306                                                  | 10,142 | △188,023 | 192,966   |
| 2020年12月31日 残高            | 430,628          | 430,628                                                  | 38,539 | 29,119   | 5,381,681 |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

**(ご参考) 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨** (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

| 科目                   | 第22期      |
|----------------------|-----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | 1,233,005 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | 53,324    |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     | △326,522  |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額     | 533       |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 960,340   |
| 現金及び現金同等物の期首残高       | 4,050,681 |
| 現金及び現金同等物の期末残高       | 5,011,022 |

**キャッシュ・フローの変動要因**

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、1,233百万円の増加（前連結会計年度は481百万円の増加）となりました。主な増加要因としては、税金等調整前当期純利益392百万円、未払又は未収消費税等の増減額248百万円、投資有価証券評価損179百万円等によるものであります。一方、減少要因としては投資事業組合運用益160百万円、法人税等の支払額133百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、53百万円の増加（前連結会計年度は664百万円の減少）となりました。主な増加要因としては、敷金の回収による収入205百万円、投資事業組合からの分配による収入178百万円等によるものであります。一方、減少要因としては、無形固定資産の取得による支出142百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、326百万円の減少（前連結会計年度は207百万円の減少）となりました。主な減少要因としては、主に子会社の自己株式の取得による支出198百万円、配当金の支払額120百万円によるものであります。

(注) (ご参考) 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨は監査対象外です。

## 計算書類

貸借対照表 (2020年12月31日現在)

(単位：千円)

| 科目              | 第22期             | 科目               | 第22期             |
|-----------------|------------------|------------------|------------------|
| <b>● 資産の部</b>   |                  | <b>● 負債の部</b>    |                  |
| <b>流動資産</b>     | <b>1,261,556</b> | <b>流動負債</b>      | <b>280,497</b>   |
| 現金及び預金          | 599,092          | 未払金              | 50,359           |
| 売掛金             | 46,092           | 未払費用             | 39,756           |
| 貯蔵品             | 435              | 未払法人税等           | 53,220           |
| 前払費用            | 45,315           | 預り金              | 45,118           |
| 関係会社短期貸付金       | 303,674          | 賞与引当金            | 11,177           |
| その他             | 269,898          | 役員賞与引当金          | 12,106           |
| 貸倒引当金           | △2,951           | その他              | 68,758           |
| <b>固定資産</b>     | <b>4,102,542</b> | <b>固定負債</b>      | <b>471,966</b>   |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>286,489</b>   | 長期預り敷金           | 186,035          |
| 建物              | 237,812          | 資産除去債務           | 135,869          |
| 工具器具及び備品        | 48,676           | 繰延税金負債           | 150,061          |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>73,283</b>    | <b>負債合計</b>      | <b>752,464</b>   |
| ソフトウェア          | 15,391           | <b>● 純資産の部</b>   |                  |
| その他             | 57,891           | <b>株主資本</b>      | <b>4,142,466</b> |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>3,742,769</b> | <b>資本金</b>       | <b>1,301,568</b> |
| 投資有価証券          | 1,025,003        | <b>資本剰余金</b>     | <b>2,069,395</b> |
| 関係会社株式          | 2,394,156        | 資本準備金            | 2,056,344        |
| 敷金              | 216,551          | その他資本剰余金         | 13,050           |
| 保険積立金           | 91,307           | <b>利益剰余金</b>     | <b>1,024,519</b> |
| その他             | 32,646           | その他利益剰余金         | <b>1,024,519</b> |
| 貸倒引当金           | △16,895          | 繰越利益剰余金          | 1,024,519        |
| <b>資産合計</b>     | <b>5,364,098</b> | <b>自己株式</b>      | <b>△253,016</b>  |
|                 |                  | <b>評価・換算差額等</b>  | <b>430,628</b>   |
|                 |                  | その他有価証券評価差額金     | <b>430,628</b>   |
|                 |                  | <b>新株予約権</b>     | <b>38,539</b>    |
|                 |                  | <b>純資産合計</b>     | <b>4,611,634</b> |
|                 |                  | <b>負債及び純資産合計</b> | <b>5,364,098</b> |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。



## 損益計算書 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

| 科 目             | 第22期    |                |
|-----------------|---------|----------------|
| <b>営業収益</b>     |         |                |
| 関係会社受取配当金       | 268,496 |                |
| 関係会社事業受託収入      | 386,568 |                |
| 施設等利用料収入        | 111,394 |                |
| <b>営業収益合計</b>   |         | <b>766,459</b> |
| <b>営業費用</b>     |         | <b>765,463</b> |
| <b>営業利益</b>     |         | <b>996</b>     |
| <b>営業外収益</b>    |         |                |
| 受取利息            | 2,885   |                |
| 受取配当金           | 7,020   |                |
| 為替差益            | 35,866  |                |
| 投資事業組合運用益       | 160,049 |                |
| その他             | 490     | 206,312        |
| <b>経常利益</b>     |         | <b>207,308</b> |
| <b>特別損失</b>     |         |                |
| 投資有価証券評価損       | 179,210 |                |
| 関係会社貸倒引当金繰入額    | 12,509  | <b>191,720</b> |
| <b>税引前当期純利益</b> |         | <b>15,588</b>  |
| 法人税、住民税及び事業税    |         | △116,176       |
| 法人税等調整額         |         | 271            |
| <b>当期純利益</b>    |         | <b>131,493</b> |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

|                              | 株 主 資 本   |           |              |           |                             |           |
|------------------------------|-----------|-----------|--------------|-----------|-----------------------------|-----------|
|                              | 資 本 金     | 資本剰余金     |              |           | 利益剰余金                       |           |
|                              |           | 資本準備金     | その他<br>資本剰余金 | 資本剰余金合計   | その他利益<br>剰余金<br>繰越利益<br>剰余金 | 利益剰余金合計   |
| 2020年1月1日 残高                 | 1,301,568 | 2,056,344 | 12,941       | 2,069,286 | 1,013,384                   | 1,013,384 |
| 事業年度中の変動額                    |           |           |              |           |                             |           |
| 剰余金の配当                       |           |           |              |           | △120,358                    | △120,358  |
| 当期純利益                        |           |           |              |           | 131,493                     | 131,493   |
| 自己株式の取得                      |           |           |              |           |                             |           |
| 自己株式の処分                      |           |           | 108          | 108       |                             |           |
| 株主資本以外の項目の<br>事業年度中の変動額 (純額) |           |           |              |           |                             |           |
| 事業年度中の変動額合計                  | —         | —         | 108          | 108       | 11,135                      | 11,135    |
| 2020年12月31日 残高               | 1,301,568 | 2,056,344 | 13,050       | 2,069,395 | 1,024,519                   | 1,024,519 |

(単位：千円)

|                              | 株主資本     |           | 評価・換算差額等         |                | 新株予約権  | 純資産合計     |
|------------------------------|----------|-----------|------------------|----------------|--------|-----------|
|                              | 自己株式     | 株主資本合計    | その他有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算<br>差額等合計 |        |           |
| 2020年1月1日 残高                 | △253,664 | 4,130,574 | 198,321          | 198,321        | 28,397 | 4,357,293 |
| 事業年度中の変動額                    |          |           |                  |                |        |           |
| 剰余金の配当                       |          | △120,358  |                  |                |        | △120,358  |
| 当期純利益                        |          | 131,493   |                  |                |        | 131,493   |
| 自己株式の取得                      | △36      | △36       |                  |                |        | △36       |
| 自己株式の処分                      | 684      | 793       |                  |                |        | 793       |
| 株主資本以外の項目の<br>事業年度中の変動額 (純額) |          |           | 232,306          | 232,306        | 10,142 | 242,448   |
| 事業年度中の変動額合計                  | 647      | 11,891    | 232,306          | 232,306        | 10,142 | 254,340   |
| 2020年12月31日 残高               | △253,016 | 4,142,466 | 430,628          | 430,628        | 38,539 | 4,611,634 |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 監査報告書

## 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2021年2月19日

GMOアドパートナーズ株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ  
東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小野 英樹 ㊞

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 村上 淳 ㊞

## 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、GMOアドパートナーズ株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、GMOアドパートナーズ株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 連結計算書類に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切かどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

- ・ 経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 計算書類に係る会計監査人の監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2021年2月19日

GMOアドパートナーズ株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ  
東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小野 英樹 ㊞

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 村上 淳 ㊞

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、GMOアドパートナーズ株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの第22期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 計算書類等に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上



## 監査等委員会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査等委員会は、2020年1月1日から2020年12月31日までの第22期事業年度における取締役の職務の執行について監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査の方法及びその内容

監査等委員会は、会社法第399条の13第1項第1号ロ及びハに掲げる事項に関する取締役会決議の内容並びに当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明するとともに、下記の方法で監査を実施しました。

①監査等委員会が定めた監査の方針、職務の分担等に従い、会社の内部統制部門と連携の上、重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行に関する事項の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査しました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。

②事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第5号イの留意した事項及び同号ロの判断及びその理由については、取締役会その他における審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。

③会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（2005年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③内部統制システムに関する取締役会の決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。
- ④事業報告に記載されている親会社等との取引について、当該取引をするに当たり当社の利益を害さないように留意した事項及び当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由について、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2021年2月19日

GMOアドパートナーズ株式会社 監査等委員会

常勤監査等委員 岩 濱 みゆき ㊟

監 査 等 委 員 杉 野 知 包 ㊟

監 査 等 委 員 熊 谷 文 麿 ㊟

監 査 等 委 員 稲 葉 幹 次 ㊟

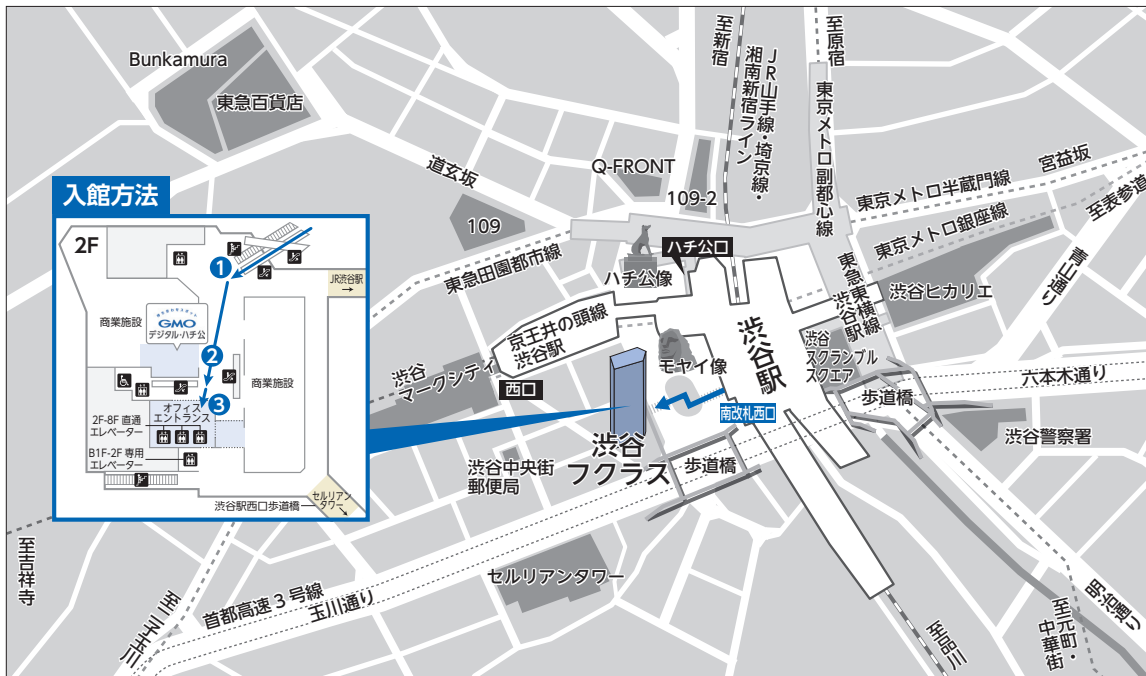
(注) 監査等委員岩濱みゆき、杉野知包及び熊谷文麿は、会社法第2条第15号及び第331条第6項に規定する社外取締役であります。

以 上



# 株主総会会場 ご案内図

会場／東京都渋谷区道玄坂1丁目2番3号  
グループ第2本社・渋谷フクラス16階「GMO Yours・フクラス」



1 北側のエスカレーターで2Fに上がり、渋谷フクラスの中へお進みください。



2 「待ち合わせスポット GMO デジタル・ハチ公」を右手に、そのまま直進してください。



3 オフィスエントランスの中に入り、エレベーターで8Fまでお上がりください。8Fに受付がございます。

## 交通のご案内

各渋谷駅より徒歩5分

- JR山手線、JR埼京線、JR湘南新宿ライン
- 東急東横線、東急田園都市線
- 京王井の頭線
- 東京メトロ銀座線、東京メトロ半蔵門線、東京メトロ副都心線

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。